

町指定文化財

うんぼん
14 雲版



雲版は衆僧の睡眠をさます時や、坐禅を終る時或いは齋食の時を知らせるための合図など多岐にわたって使用されるもので、輪郭を雲形につくるところからこの名があります。

表面に「寶珠菴公用」、裏面に「正長二年九月二日」（1429年）と刻まれており、首部が欠損しているものの室町時代中期の貴重な文化財です。